

IYC2018

17TH Y'S MEN INTERNATIONAL YOUTH CONVOCATION

YEOSU, KOREA 6~12TH AUGUST 2018

JAPAN WEST REGION



目次

I 巻頭挨拶

II 開催概要

III 参加者一覧

IV プログラム報告

V 参加者感想



I 巻頭挨拶

ユースコンボケーションに参加された皆様へ

第22代 西日本区理事 遠藤通寛(大阪泉北クラブ)

皆様こんにちは、大韓民国の麗水にて開催されたユースコンボケーションはいかがでしたか。ユースコンボケーションは2018年8月6日から同12日まで開催されました。ワイズメンズクラブ国際協会の国際大会の開催期間、8月9日から12日までの重なる4日のうち、皆様の活動を拝見できるプログラムは僅かしかありませんでした。7日間の中に、大きく変わる皆様を、拝見できるチャンスが乏しかったことは残念です。ユースコンボケーションは、ワイズメンズクラブのユースを育てるプログラムですが、このプログラムはハワイで始まった、太平洋地域ユースコンボケーションが契機となり、国際大会、地域大会で開催されるようになりました。1986(昭和61)年7月21日から24日、デンマーク・オーフィスで開催された第57回国際大会前に、初めて開催されたそうです。その時は日本全体で4名の参加があったようです。32年間このプログラムは続いています。過去にこのプログラムに参加された皆様方には、どの様な影響を与えたのでしょうか。最初に参加された方は私の年齢に近い可能性があります。機会があればお話を伺ってみたいものです。

ユースコンボケーションは参加者でテーマを決め、又議論を進めて行きます。世界中から集まった若人が、共通のテーマ、ワークを通じて友人となる。それぞれ異なる環境で育った人々が、理解し合うということは大変素晴らしいことです。このプログラムでの学びや認識、友情を是非身近な世代の方々に伝え、将来ご自身が人を育てるプログラムの支援者になり、ユースを育てる側に立つことを大いに期待しております。皆様の今後の人生が豊かなものであることを心より望みます。

Ⅱ 開催概要

・日程:2018年8月5日～8月12日

・開催場所:韓国 麗水

・参加国数:22ヶ国

SriLanka,Norway,Rwanda,Bolivia,Thailand,Cameroon,Korea,Nigeria, Chile,Zambia,Russia,Canada,Kenya,Japan,United States of America,Bulgaria,Malaysia,Tanzania,Jamaica,Uganda,Taiwan,India

・参加者数:86人

・主会場:Chunnam National University,Yeosu Campus



Ⅲ 参加者紹介



内村 麗

推薦：熊本みなみクラブ

木山 エリイ

推薦：熊本クラブ



佐古田 ひかり

推薦：京都 ZERO クラブ

市橋 さら

推薦：京都ウエストクラブ



IV プログラム報告

8月6日

昼食

開会式

【session 1】YMI & IYC Basics

Y'slympics 1(Ice breaking)

夕食

Culture Night



8月7日

朝食

Devotion

Community Service 1 (韓国の子供達との field trip)

昼食

Welcoming ICM

【session 2】GOLD 2.0

Y'slympics 2

夕食

Culture Night



8月8日

朝食

Devotion

【session 3】Fairy tale Book Project

昼食

Field Trip 1 (麗水観光&博物館)

夕食

Culture Night

8月9日

朝食

Devotion

【session 4】UN Project 〈Say No to Violence〉

昼食

IC Opening

夕食

Field Trip 2 (夜の海辺の観光)



8月10日

朝食

Devotion

【session 5】Dare to Overcome

【session 6】Making Club Meeting Fun

昼食

Field Trip 3 (海上警察教育センター)

Field Trip 4

夕食

【session 7】Area Youth Planning

IYR Election Night



8月11日

朝食

Devotion

Community Service 2 & Y'slympics 3 (韓国の子供達とスポーツ)

昼食

【session 8】Y'smen YMCA Relationship

Closing Ceremony

Field Trip 4 (クルージング)

IP Night Ball

8月12日

朝食

IC Devotion

IYC Report

IC Closing Ceremony

昼食



V 参加者感想

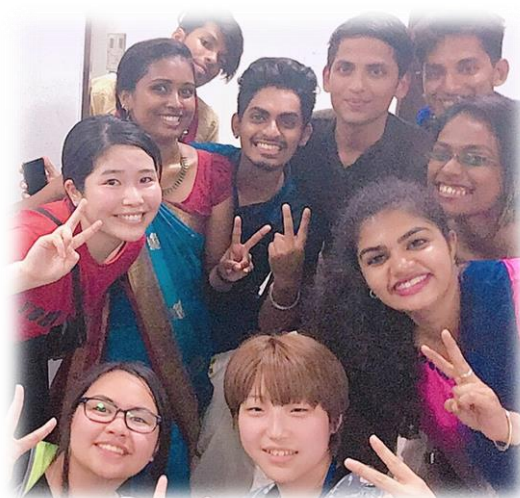
内村 麗

今回の IYC に参加させて頂きました熊本みなみクラブの内村麗です。今回の IYC は韓国のヨスで一週間、約 23 カ国 87 名で開催され”Strong Community, A Better World”をスローガンのもと IYC のスケジュールをこなしました。

今回はヨスの大学のキャンパス内で行われ、1日目はまず開会式が開かれたあと体育館でアイスブレイクがあり、初日から全開で汗掻きまくりで運動し遊びました。その後は初日目のカルチャーナイトがありノルウェーやスリランカなどが発表しました。特にホスト国の韓国での発表が素晴らしくテコンドーや伝統舞踊など迫力満点の発表でした。二日目は、朝からバスに乗り海辺に移動し韓国の子供たちと交流しアクティビティをして遊びました。昼食後は Y'slympics をしチームに別れてゲームしました。次に Welcoming ICM で多くの国の役員を迎えました。その日のカルチャーナイトは私たち日本の発表の番でした。私たちは始めにパワーポイントを使って日本のクイズをしたあとソーラン節を踊りました。とても楽しかったです。3日目は朝からセッションがあり Say No to Violence がありチームごとにテーマが分けられ話合いました。その後はバスで移動しヨスの観光をしました。ケーブルカーに乗ったり、歴史博物館を見学したりしました。最後のカルチャーナイトは、インドの発表したダンスがとても盛り上がり最後はみんなステージにあがって踊りました。4日目は朝から Fairy tale book project があり、各国の絵本を持ち寄って紹介しあいました。昼食後は IC OPENING があり各国の多くの人たちが集まり今回の規模の大きさを実感しました。夜はみんなでキムチ鍋を食べその後はナイトマーケットに行きました。5日目は朝から Devotion があり、私たちはアメージンググレイスを歌い、過労死について発表しました。お昼はバスに乗って Marin Police Center に行き海上救助や心肺蘇生などについて学びました。6日目は IYC の閉会式を終えて IP Night ball がありました。ステージで踊ったり本当に楽しかったです。最終日は IC Closing Ceremony を終えて七泊8日の IYC を終了しました。

今回の IYC で、初めての IYC 初めての韓国と不安も多くアクシデントもあったりしましたが、なんとかみんなで乗り越えて楽しむことができました。また今回を通して YMCA のおかげで IYC で多くの人たちと出会い交流す

ることができて改めて YMCA の組織の大きさや偉大さを実感しました。本当に今回の IYC に参加できて良かったです。短い間でしたが、有意義で濃い経験をたくさんする事ができ、多くのものを通して成長できたと思いました。たくさんの人種が集まり英語だけで交流して改めて英語の重要性や可能性を実感し英語を学ぶ意欲も湧きました。これからも英語をしっかり勉強して多くの人たちと交流したいと思いました。本当にありがとうございました。



木山 エリイ

昨年 AYC に参加させていただいた私は、今回初めて IYC に参加させていただきました。昨年の AYC も私にとって大きな体験となりましたが、今回の IYC はそれ以上に私にとってとても有意義なものとなりました。普段の生活の中で、海外の方々と交流を取ることが殆どないため、一年ぶりに様々な国の人々と生活を共にするという機会にまたもや緊張していたのですが、始まってみると、全力で楽しむことができました。

私は前回、英語力に自信がなく初めはあまり積極的になれず、日本人とばかり話していました。その反省点を踏まえ、今回は 1 日目から積極的に他の国の仲間達とコミュニケーションをとるように心掛けました。移動のバスでは色んな人の隣に座るようにしたり、空き時間に一緒に遊んだりしました。正直英語力にはまだ自信を持てるレベルではないものの、皆優しく私の拙い英語でも笑わず最後まで話を聞いてくれました。その為、今回は前回より多くの、そして繋がり深い友人をたくさん作ることが出来たと思います。

1 日目はアイスブレイクという事で、体育館で皆で体を動かす活動があったのですが、私は本気になりすぎて膝をぶついたりしてしまっていました。そんな時にまだ話したこともない子達が心配して話しかけてくれて、そこから意気投合することができ、他のチームに負けない絆が出来たと思います。翌日には、麗水の素晴らしい自然の中で韓国の子供達とアクティビティを楽しむ活動があり、初めは恥ずかしがり屋なのかなと思っていた小学生の男の子とも、最後には楽しく会話をする事ができて、嬉しく思いました。そして、小学生でも外国人とコミュニケーションを取ることが出来る英語力を有していることに驚きました。その後、各国の役員の方々と顔を合わせる機会があったのですが、昨年会った方々なども覚えてくださっていて、優しくしていただき、ワイズの素晴らしさを改めて感じました。また、Fairy Tale Project という各国の絵本を紹介する活動では、私は「桃太郎」を紹介したのですが、皆興味津々で最後までしっかりと聞いてくれました。そして、グループの代表としての発表も任されることとなり、昨年は自分の意見を述べる事が中々出来なかったことを帰ってから残念に思っていたので、今回全員の前で物語と自分の意見を述べる事ができ、成長することが出来たと感じました。また IP Night では浴衣を着ていた為、ユースはもちろんのこと、様々な国の役員の方々にも日本について興味を持っていただくことができ、私自身も日本について紹介するのが日本人としてとても誇らしく、興味を示してくれることに喜びを感じました。

今回の IYC を通して、日本に興味を示してくれている人が多いことを発見することが出来ました。日本の文化である、食や着物、マンガやアニメなどを好きと言ってくれる人が多く、日本語を勉強しているというユースも多く驚かされました。それと同時に、自分の母国である日本をそれだけ愛してくれていることを嬉しく、誇りに思い、私自身の日本への愛も強まりました。前回の AYC では各国の文化などの情報を取り込むことで精一杯だった自分がいたのですが、今回は自分の意見はもちろん、自分の国について周りに伝えることが出来たことが 1 番、自分の中で今回参加した甲斐があったと感じます。また、そのことによりできた友人達とも仲を深めることができ、最終日に離れる時には大号泣してしまいました。心から離れたくないと思える友人ができたのも、今回参加することができてよかったと心から思っています。

今回成長することができた点も多かったのですが、もちろん反省点もあります。私はやはり英語力がまだまだであり、他の日本人の参加者に助けられる場面が多かった点です。年齢的に私より下の子達も多かった中で、情けないと思いました。これからは英語はもちろんのこと、現在学んでいるフランス語、中国語、韓国語もしっかりと勉強を怠らず、もっと自分の気持ちをそのまま伝えられるようになりたいと強く思います。

成長も反省も含め、IYC では多くの事を得ることが出来ました。前回に引き続き今回も参加させて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。私を応援し、支援して下さったワイズの皆様、本当にありがとうございました。この経験を生かし、日本と海外を繋ぐ国際人となれるよう今後も精進していきたいと思えます。



佐古田 ひかり

私は今回、韓国で行われた IYC が初めてでした。飛行機の中からもうすでに胸がドキドキしました。昨年 of AYC と違ってアジアだけではなく世界中から来る人たちが多かったのですから。初めは緊張しながらアプローチしましたがなぜだか空気が優しい感じだったからすぐに馴染みました。特にスペンサーさんはとても面倒見が良い方でした。何か困ったらすぐ駆け付けてくれました。

さっきも書いた通り初めはとても緊張してました。なぜなら、私自身の英語が伝わるかという不安でした。日常会話の英語ならば、できると思いましたがセッションの中の会話についていけるかがわかりませんでした。しかし、セッションの中に入るとわからない時があったらわかりやすく教えてくれました。だから、私も勇気出して自分の意見が言うことができました。

今回はセッションがいっぱいありました。私にとって特に印象的に残ったのは、非暴力運動のセッションとフェアリテールプロジェクトです。まず、非暴力運動では、自分の国でどんな問題点があるかということをお話し合いました。そして、話を聞いて、世界ではこんな多くの問題があるとは想像つきませんでした。例えば、インドやアメリカでの人身売買についてなどが取り上げられます。そのことから私たちはどのように考え、そのような取り組みをしていけばこの問題を解決できるかと考えました。そして、私のグループで発表されたのは、たくさんの人と手を組みラリーをすることやこのような行いがあることを宣伝する、私たちが彼らの代わりに声をあげてことを考えました。

次に印象に残ったのがフェアリテールプロジェクトです。まずはじめに、自分たちが英語で書かれている本を持ってその本についてグループ内で発表しました。そして、発表された本の中一番良かった、面白かった本を皆の前で劇をしました。私たちが選んだのは台湾の話でした。これらの本は子供たちに渡されることです。

さらにセッションだけではなく、フィールドトリップもありました。私にとって、思い出に残ったのは3つ。一つ目は2日目で行われたコミュニティサービスの時です。私たちが子供たちと韓国の風景を四人乗りの自転車で見に行ったときです。現地の子は英語はちょっとは知っていたので、簡単な英語で話したりしました。風景がとても美しくきれいでした。またいつか行きたいなと思いました。二つ目は水上警察教育センターに行って来たときです。私たちは溺れた人をどのように救助すべきかを学びました。そして自分たちが船の中において、それが水没するときにする行動も学びました。こ

れらを抑えて将来なにが起こるのかわからないので、この貴重な経験を大切にします。そして最後にクルージングをした時です。みんなとはもう仲がよくなりました。楽しい会話を空と海の向こうを見ながら話していたのを忘れられません。そして、私たちがカルチャナイトで踊ってた曲をみんなでクルーズの中で踊り、盛り上がりました。もう、言葉の壁なんて忘れてしまいました。みんなの笑顔そして、この思い出や経験がずっと忘れられません。本当に今回の IYC に参加させていただきありがとうございます。

とても貴重な体験をさせていただきました。



市橋 さら

今回の IYC を振り返って一番に思うことは、参加できて本当によかったということです。私にとって IYC のような、多国籍の方々と一度に出会い、同じ部屋ですごしたりディスカッションをしたりという経験ができるプログラムはとても貴重なものです。IYC は、もちろん不安はありましたが、それ以上の経験をさせてくれて、最後には帰りたくない、何度でも参加したいと心から思えるような、素敵なプログラムです。短期間に本当にたくさんの文化にふれ、多国籍の友達を作ることができ、私にとってとても刺激的で忘れられない七日間になりました。

この IYC では 2 年間の成長も感じることができました。フリートークでさえ精一杯だった 2 年前に比べて、今回はたくさんの方と英語で会話することを楽しむことができました。また英語力の向上に伴い、自分から積極的に声をかけることが増えたり、自己紹介だけで終わらず世間話につながられたりしたことで、新しくできた友達の数も 2 年前と比べ倍近く増えたと思います。なにより、1 番成長できたと感じるポイントは、ユース全員の前での発表を経験できたことです。それは、出国前から準備していた、Fairy Tale Project のセッションのときでした。内容は簡単で、私が選んだ日本の昔話の内容やおすすめするポイントなどを発表するというものでした。前に立つと緊張してしまい、思った通りに英語で伝えることはできませんでしたが、その発表のチャンスを逃げずに掴めたことが私を成長させてくれたと思います。

しかし、反省点もたくさんあります。ディスカッションで積極的に意見を言えなかったり、わからない単語が出てきたり、一度で相手の言うことを聞き取れなかったりと、まだまだ勉強不足だと感じることも多くありました。また、Fairy Tale Project での発表も、事前に準備していたものだったからできたことであり、ディスカッションに参加できていないのならあまり意味がありません。実際に私の通っている高校で週に二回あるディスカッションの授業では、きれいな英語ではありませんが、自分の意見を伝えたり発表したりということではできているのに、あの場に行くと急に何も頭に浮かばなくて、周りの人が話していることを聞くのでいっぱいになってしまいました。少しは自信をつけて参加したつもりだったので、とても悔しかったですし、まだまだ勉強不足だと改めて感じさせられました。

反省点が明確にあるということは、これからさらに成長していけるという証拠です。この新たな反省点をまた次の機会に生かし、自分自身ももっと成長していけるようにこれからも大好きな英語を頑張っていこうと

思います。

今回の IYC 参加を応援してくださった皆様、準備など様々な面で私たちを支えてくださった皆様、こんなに素晴らしい経験をさせていただけたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



編集:木山 エリイ

報告者:2018-2019 西日本区

YMCA サービス・ユース事業主任 人見 晃弘